

第1回県立大学の設置の是非を検討するための有識者会議 論点

論点① 学びの選択肢の拡大を図るうえでの、大学の必要性について。
また、人口が減少していく見込みの中での、今後の大学の必要性や役割について。

三重県では、令和2年度の大学進学者収容力が39.8と低く、三重の地で学びたいという高校生の希望を叶えるためには、学びの選択肢の拡大が必要であるが、学びの選択肢の拡大を図るうえで、大学の必要性についてどう考えるか。一方で、今後18歳人口が減少し、大学進学者数も減少する見込みとなっている中、今後の大学の必要性や役割について、どう考えるか。

論点② 高等教育における県の役割について。

高等教育における県の役割として、高等教育機関の一層の魅力向上、学びの選択肢の拡大、高等教育機関と産業界等地域との連携があるが、これらの3つの役割について、どう考えるか。また、それ以外に考えられる役割については、どのようなものがあるか。特に、学びの選択肢の拡大の観点から県外大学の誘致や県内大学の新設などの設置に関して、県が果たすべき役割について、どう考えるか。

論点③ 地方創生の観点から見た大学の意義や果たすべき具体的な役割、オンラインを活用した高等教育の可能性について。

大学の存在は、学術の中心として教育や研究、社会貢献の役割を果たしているだけでなく、若者の定着においても大きな役割を果たしているが、地方創生の観点から見た大学のあるべき意義や具体的に果たす役割についてどう考えるか。また、これからの教育においては、オンラインを活用して知識・技能を習得する可能性が高くなると考えられるが、今後こうしたオンラインを活用した高等教育の可能性について、どう考えるか。